



上尾ロータリークラブ

2025-2026年度

UNITE FOR GOOD

よいことのために 手を取りあおう

第3090回 例会

2026. 1. 15

会長あいさつ



2025-2026年度 坂本 忠光会長

週報 No.2310
発行 2026年1月22日

2025-2026年度
会長 坂本 忠光
幹事 大木 崇寛
副会長 齋藤 哲雄
副幹事 奥川 淳一
編集責任者・公共イメージ向上委員会 委員長 寺脇 貴浩

ビジター
地区米山記念奨学増進委員会委員 山岸和美様(大宮シティRC)
親睦活動委員長 別所純一様(大宮シティRC)

ゲスト
2025学年度 米山記念奨学生 シャキヤ ソスティカさん (世話クラブ:北本RC)
シュレスタ/アビシユクくん (世話クラブ:大宮シティRC)

行事予定
2月 5日 卓話「あいラジ」について
2月 12日 会員卓話 宇多村海見会員
2月 20日 インターシティーミーティング (於:クレアこうのす)
2月 26日 職業奉仕委員会 日帰り視察旅行(大洗)

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。前回の例会後からの報告をいたします。1月11日(日)、上尾市スポーツ少年団バレーボール争奪冬季大会 上尾ロータリークラブ杯に出席してきました。今回は3チームでの総当たり戦でした。迫力ある試合展開、小学生とは思えぬほどのプレーで、その中の1つは埼玉上尾メディックス下部組織のジュニアチームで、全国大会にも出場している強豪でした。もしかしたらここから未来の日本代表選手が選ばれるかもしれないというように観戦しました。

さて年末年始の間に改めて年度計画書やセミナー資料を読み返してみました。その中の「ロータリーの中核的価値観」が目にとまりました。ロータリーにとって普遍的で変わらぬ価値観、それは「親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ」であるとされています。この「親睦」について少し勉強させていただきました。日本のロータリーでは「親睦と奉仕の両輪」と語られています。親睦を英語では「フェロシップ」となり「フレンドシップ」ではありません。フェロシップは「志を同じくする仲間、仲間意識」などの意味で、フレンドシップは「親しみ合って仲良くすること、友情」などの意味があります。四つのテストの3つ目、好意と友情を深めるか、の友情の部分は英語でフレンドシップとなっています。ロータリー用語としての「ロータリーの親睦フェロシップ」とは、1923-24年度のR I 会長ガイ・ガンディカーさんの書物の中に「良き親睦は、決してロータリーの全てではないのであって、良き親睦はロータリーという苗木が根をおろし成長するための土壌を成している」とありました。そして、良き親睦を形成するものとして、①真心のこもった握手、②姓ではなく名前前で呼び合うこと、③歌の合唱を行うこと、④ある種のウィットに富んだ行動、⑤各会員相互間に行われるその他の親切、⑥議長・同僚たる会員及び招待者に対する礼儀正しい行動、⑦老練な企業経営者にしてはじめてできる紳士的な振る舞いと思慮深さ、の7つを挙げています。この7つの項目を踏まえて、ロータリアンが情報や経験を語り合い、好意と友情を深め合い、自己改善を図り、奉仕の心を育てて高める例会が「親睦という土壌」となり、例会で高められた奉仕の心で、各々



ROTARY CLUB OF AGEO

の家庭、職場、地域社会において、より良い奉仕の実践に努めるロータリアンが増えていくということが「ロータリーという苗木の成長」だと言われています。そのことから、知り合いが友情でつながり、志を同じくする仲間となって互いに語り合い、切磋琢磨し協力しながらロータリーの理想達成を目指すことが「ロータリーの親睦」であり、ロータリーはロータリアン同士の親睦を基盤に立派なロータリアンを育てながら価値ある奉仕を通じて社会に貢献する世界的な団体だとも言われております。今年度当初、親睦に重きを置いて1年間、例会運営をしていければとお話させていただいたかと思いますが、今後も親睦の意味を踏まえた例会や事業を行ってほしいと思っておりますので、どうぞ皆様、参加ご協力のほどよろしくお願いたします。本日もどうぞよろしくお願いたします。

卓話者紹介

地区米山記念奨学増進委員会委員 山岸和美様

米山記念奨学増進委員を務めています。大宮シティRCより出向しています。上尾ロータリークラブの皆様には、米山記念奨学事業にご支援いただきありがとうございます。本日はシャキヤソスティカを卓話にお招きいただきありがとうございます。彼女は一昨年の選考で、なんと奨学生の中で1番の成績で、また本日よりアビ君が2番です。とても優秀なお二人を連れてまいりました。シャキヤは名古屋大学院に合格して4月から名古屋に行きます。本日はどうぞよろしくお願いたします。



例会主題

私の研究について

シャキヤ ソスティカさん(世話クラブ:北本RC)

こんにちは。シャキヤソスティカと申します。私の名前はこちらと発音が難しいと言われますが、仏様の釈迦と同じで、シャカと呼んでいただいても結構です。今回で8回目の卓話になりますが「私の研究について」を話すのは今回初めてです。私は、共栄大学国際経営学部4年生です。ネパール出身で、先日、名古屋大学院の生命農学研究科に進学することが決まりました。早速私の研究のテーマを紹介させていただきます。私のテーマは、英語で、BEYOND PARTICIPATE , Exploring Gendered Labor Burdens and Intergenerational Time Poverty In Likhu です。日本語に訳すと「参加を超えて」、「リク」はネパールの村、首都カトマンズから2時間くらいの田舎の村で、「リク村における女性の労働負担と世代間の時間貧困」となります。私がこのテーマを選んだ理由は2つあって、女性が今ネパールで生活している間にどういう問題があるかと、農業をしている方も多くて、ネパールの農村から自分でできることはないかと考えて、テーマにしました。



この研究の背景をお話します。ネパールでは海

幹事報告

大木 崇寛 幹事

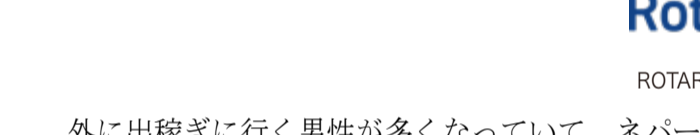
◇会費納入の件では、皆さん早期にご入金をいただきありがとうございます。まだ納入されていない方は、ぜひ早期にご入金をお願いいたします。
◇第13回全国インターアクト研究会福島会議が2026年5月9日・10日の2日間、福島県環境創造センター交流棟で開催されます。ご興味がある方は幹事までご連絡ください。



委員長報告

青少年奉仕委員会 樋口 雅之委員長

2月にインターアクト訪日団で、韓国から1名の高校生が上尾ロータリークラブに来ます。その準備で、皆さんのお手元に青少年奉仕委員会開催のご案内をお配りしました。1月27日(火)18時半から、たべどころ絆で開催します。今回訪日する韓国学生は1名で、送迎等を日によってはお願しないこととならない可能性もあります。また2月7日に歓迎会、2月11日に送別会を行います。よろしくご協力のほどお願いたします。



ROTARY CLUB OF AGEO

外に出稼ぎに行く男性が多くなっていて、ネパールで残っている女性がどのように生活しているのか、もちろん家業としての農業もあって、それをどうやって女性が働ながら家事もこなして家を支えているのか興味がありました。男性が出稼ぎに行った結果、ネパールの女性は農業に就くことを英語では Feminization of Agriculture と言い、「農業の女性化」みたいな感じになります。今ネパールの一番の問題は、そのことを支援している開発プロジェクトがたくさんあって、女性がプロジェクトに参加している=社会に出て自分の暮らしをもっと良くするために参加しているのですが、でも結局プロジェクトに参加しているという感じだけで、女性がエンパワメントになっているというような結果が出ていることです。私の研究では、プロジェクトに参加しているだけでは女性が社会で働く資格を持っていないで、その前にまず家族からのサポートがないと社会に出られません。また男性が海外に行くと、家事も農業も自分でやることになるけれど、資格もなくやり方もわからないことになっていてやっていると、農業をどうやって生かすかではなく、プロジェクトに参加しても説明が足りず、リクの女性に何を学んだか、自分に必要なものは何か、何をどうやって使うのかなど、まるでわかっていない状態でした。女性がプロジェクトに参加することが評価されがちですが、もっとプロジェクトの意義を理解していただきたいと、研究テーマとして掲げながらコミュニケーションをとっています。

繰り返しになりますが問題は、女性が家事を行い、農作業に従事し、ケア労働もすることです。男性がいなくて、義理の両親の生活をサポートするのも女性になってしまうし、女性が働きに出ると、その娘が家庭を手伝うことになります。もちろん家族の他の女性メンバーたちも手伝いますが、結局、農業も家事もこなすのは女性で、エンパワメントとして意識できないということが問題点だと感じました。研究で女性たちにアンケートを行いました。が、「本当に忙しい」、「自分の家事も減らず、そのうえ農作業や働きに出ないといけない」という回答が返ってきて、もちろん自分のために働いているのですが、それがストレスでもうやめたいと思っているようです。娘さんたちも同じように手伝っているのに、エンパワメントになってないということです。

女性の労働量が増えているかどうか、家事やケア労働は誰が担っているのか、経済プロジェクト参加は本当のエンパワメントか、を調査しにネパールに昨年11月に行ってきました。ここで注意点ですが、ネパールの田舎には読み書きできない人がまだいます。なのでアンケートは筆記方式ではなく、インタビュー形式にして、今日同行しているアビ君と、あと私の高校の友達5人で調査をしました。対象はもちろん農業開発プロジェクトに参加している女性です。インタビューの回答者数は39人です。その結果の数値はまだ集計できていませんが、女性の仕事量が増えているという結果が一つ。家事は減っていません。自分を手伝ってくれる人がいないから家事の量も時間も減っていませんでした。



この研究が重要だと思ったことは3点あります。1点目、開発プロジェクトや持続的なプロジェクトは必ずしも良いこととは限りません。女性の参加だけでは不十分です。2点目、プロジェクト参加について「〇パーセント達成」と数値で測っていましたが、数値には反映されない女性の負担があります。労働の中身を見る必要があると思います。3点目、家庭内のケア労働や家事の負担など、女性にとっての本当の支援を根本から考えないといけない、開発の評価方法を見直す必要があると思いました。

田舎の女性たちが苦勞をしているので、私にできることは何かないかと思うとともに、今後も農業開発と女性の時間貧困の研究を引き続きしたいと思っています。私が春から行くのは名古屋大学院農学部、生命農学研究科で、生物生産学が研究になります。その中のゲノムの分野では、例えばネパール女性が農業を効率よくできるようにする農作物を作るとか、病害に強い品種を作り労働時間を短縮する品種改良を、引き続き研究したいと思っています。名古屋大学院の先生も「一緒にネパールに行つて研究したいな」と言ってくれています。これからももっと頑張つて研究の成果をあげ、ネパールの女性の役に立ちたいと思います。ありがとうございました。

シュレスタアビシユクくん(世話クラブ:大宮シティRC)

お時間があるようなので、私の研究も少しだけお話しします。私もシャキヤさんと同じくネパール出身です。私の研究は災害と文化遺産についてです。文化遺産が壊れたことと、その修復が遅れていることについて、ネパール国民はどう感じているかが研究テーマになります。昨年11月、シャキヤさんと一緒にネパールに行き調査しました。首都カトマンズには3つの文化遺産があります。2015年の大地震で3つとも8割方壊れてしまいました。この3つの文化遺産(お城)はネパールの昔からの文化に重要な役割を持っていて、お城の周りに人々が住み始め、そこからネパールの文化が培われてきました。大地震から10年になりますが、今も文化遺産の修復はまだできていない状況です。ネパールは宗教色の強い国で、文化遺産は人々の生活に影響を与えています。例えばネパールは祭りがたくさんあり、祭りの時にお寺に行ってお祈りするのが文化です。ところが文化遺産が修復できていないとお祈りができず、「悪いことが起きるのは」と心配してしまいます。親子の世代間で文化遺産についての見方にギャップもあり、親は昔からお祈りをして



いましたが、震災から10年の間に生まれ育つた子どもたちは倒壊した文化遺産しか知りません。それで親世代と子ども世代が文化遺産についてどのように感じているか調査をしたところ、親世代は文化遺産を修復したいと、政府に怒っているということが判明しましたが、一方で子ども世代は文化遺産とそんなに関係を持っていないという結果が判明しました。このほかに、文化遺産を修復するために自分がお金を出すか(寄付するか)という調査や、政府を信頼しているかという調査も併せて行いました。政府を信頼している人は、文化遺産の修復に寄付もしたいようです。それらの結果はまだ集計中です。調査の結果を分析し、文化遺産の修復が進んだらいいなと思います。本日はありがとうございました。



スマイル シャキヤさん、アビくん、卓話 ありがとうございます!!

山岸和美様 (RID2770 2025-2026 米山記念奨学増進委員会委員 大宮シティRC)
本日は米山記念奨学学生シャキヤを卓話にお招きいただきありがとうございます。彼女の応援に大勢で参加させていただきました。よろしくお願いたします。

別所純一様 (大宮シティRC 2025-2026 親睦活動委員長)
上尾ロータリークラブの皆様、はじめまして。本日はシャキヤさんの応援と卓話の拝聴に伺いました。素敵な例会に参加させていただきありがとうございます。

村岡会員 今年も宜しくお願いします。

宇多村会員 シャキヤさん、卓話ありがとうございます。残り少ない学年度ですがこれからも頑張ってください。

長沼会員 米山記念奨学会にご寄付をお願いします。

坂本会長/大木崇寛幹事/齋藤哲雄副会長/奥川副幹事/大塚信郎会員/尾花会員/大木会員/大塚崇行会員/島村会員/齋藤博重会員/藤村会員/樋口会員/門崎会員/関口良康会員/山崎会員/原田会員

出席率	
会員数	33
出席免除	1
出席対象者	31
出席者数	19
61.29%	

